

産業能率大学 経営学部

企業の提携と買収	履修年次	3・4	
	単位	2	
光定 洋介	配当期	前	
	授業方法	講義/ オンデマンド	
授業の内容			
<p>[授業の概要] 講義とケースと新聞・雑誌記事を使って授業を進める。 講義では提携及び買収(M&A)の①戦略、②価格、③方法を説明し、M&A 全体像を理解させる。ケースでは学生が大学でホットドッグ屋を開業し M&A で成長していく架空のケースを題材にし、講義の内容の理解を深めさせる。また、新聞・雑誌記事では実際の M&A の記事を読むことで、現実の企業経営における M&A 戦略を理解させる。これらを通じて、提携及び買収(M&A) について、①戦略、②価格、③方法を理解させる。学生の視点にあった M&A ストーリーや実際の M&A に関する新聞・雑誌記事を読むことで、①現実感のある講義を行い、②何故 M&A についての理論が必要かを学生自らが考える動機付けをし、③M&A の目的、仕組み、企業評価などについて理解させ、最終的には④企業の経営戦略として M&A の果たす役割についての理解を深めさせる。</p> <p>[担当教員の実務経験] 投資ファンドにて、M&A 前の案件発掘、戦略立案、買収スキーム検討、M&A 中のデューデリジェンス(精査)・企業価値評価・契約交渉、M&A 後の事業再生など全プロセスに従事。</p> <p>[実務経験に基づく項目] M&A の目的、M&A の制度、企業評価方法、M&A と経営戦略、デューデリジェンス(精査)・M&A スキームのメリット・デメリット、M&A の社会的意義(事業再生・事業承継)、M&A の契約書、ESG・SDGs と M&A。</p>			
この科目の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・企業の提携及び買収(M&A)の概要を理解し、同分野への関心を持つことができる。 ・M&A を考える上で特に重要なM&A の①戦略、②価格、③方法について説明することができる。 ・M&A についての情報収集をし、その企業戦略について理解することができる。 			
成績評価の方法			
M&A の①戦略、②価格、③方法に関する小テスト、授業外学習、課題、授業出席を下記割合で総合的に評価する。			
週	授業項目	週	授業項目
1	イントロダクション M&A とは何かということ、分かりやすく解説する	8	デューデリジェンス(精査)・M&A スキームのメリット・デメリットを整理
2	企業と経営権の移動 M&A の目的	9	M&A の社会的意義(事業再生・事業承継)
3	M&A の制度(敵対的・友好的買収)	10	M&A の契約書
4	企業評価方法について企業評価の方法(EV/EBITDA 法)	11	経営権とシナジー効果
5	企業評価方法について(DCF(DiscountCashFlow)法)	12	ESG・SDGs と M&A
6	その他の企業評価方法 EV/EBITDA 法、DCF 法以外の企業評価の方	13	M&A 戦略実現のために(事例も交えながら)
7	M&A と経営戦略水平統合、垂直統合の違いを理解	14	その他の M&A に関する問題(MBO等)